

巻頭インタビュー

宮城県華人華僑同舟会 ～中華圏コミュニティの行方



佐久間明秋 さん
(会長)
石巻市在住



小関一絵 さん
(副会長)
仙台市泉区在住

東日本大震災からすでに1年以上が経過しましたが、外国人コミュニティにおいても震災前には見られなかった動きが出てきています。いち早く動いたのがフィリピン人コミュニティで、「フィリピンコミュニティミヤギ」「バヤニハン気仙沼フィリピンコミュニティ」「サンパギータ Fighting Ladies会」といった団体が相次いで立ち上がりました。この3つの団体に共通するのは「有事の際の連絡網の構築」で、まさにネットワークのための団体と言えますが、そこから派生してタガログ語のラジオ番組を制作・発信したり、介護資格取得のための勉強会を運営したりといった自助・共助を促す取り組みが活発に行われています。

一方、宮城県内で国別登録者数では最多を誇る中国籍の方々には、なかなかそうした動きが見られませんでした。当協会が一昨年開催した「みやぎ外国籍県民大学」(以下、「県民大学」と略します。バックナンバー54号【2011年4月号】参照)に参加していた中華圏の方々を中心とし、ネットワークグループの立ち上げに向けて準備を進めています。今回のインタビューは、その準備会にお邪魔し、このグループの会長、副会長にお話を伺いました。

—今回こうしたグループを立ち上げるきっかけはやはり東日本大震災かと思いますが、詳しい経緯や動機などについて教えてください。

明秋 実は、東日本大震災が発生する前から構想はありました。きっかけは県民大学です。県民大学で多くの方と知り合ったり、再会したりしましたが、「卒業」と同時に何もなくなるのはもったいないと思っていました。

小関 「卒業式」後に参加していた中華圏の人たちと喫茶店に行き、あれこれと話しました。その後、ほぼ1、2か月に1回のペースで集まっていたのですが、親睦を目的としたグループの構想はそうした「おしゃべり」の中から徐々に生まれていきました。

明秋 東日本大震災は結果的にその後押しをしました。当初考えていた親睦という柱に加え、緊急時の情報連絡網という柱が加わりました。



宮城県華人華僑同舟会の準備会の様子。すでにけっこう大きな「舟」になっています。

小関 後から聞いたところでは、帰国のために空港まで送迎する大使館バスの情報が得られなかった方も少なくなかったようですので、そのための仕組みの構築が重要だと思っています。

—グループ名について伺います。

明秋 「会合」のときにある参加メンバーから「同舟会」という言葉が出てきました。以来暫定的にそう呼んでいましたが、いざ正式に団体名を決めるとなった時にも、それ以外の名前は考えられなくなっていました。

小関 「同舟共済」「風雨同舟」(どちらも同じ立場の者同士が互いに助け合うといった意味)といった故事成語がありますが、まさにこの会の目的に合致する考え方だと思います。

—具体的にはどんな活動をしていきますか？

小関 基本的には有事におけるネットワークグループです。安否確認や大使館からの情報提供などで。県内をいくつかのブロックに分けて情報を伝達する連絡網をイメージしています。

明秋 それと、平時には春節、中秋節といった伝統的な行事を行い、親睦交流を図るとともに中国の文化を宮城県内で発信したいと考えています。まずは会の立ち上げに向けて、今は話し合いを重ねているところです。

小関 先日は会長とこの会について5時間も話しました(笑)

明秋 中国には「衆人拾柴火焰高(みなが力を合わせれば、何でもやりやすくなる。人が多ければ、力も大きい)」という諺があります。この意味で、たくさんの方々にこの会のことを知ってもらって、積極的に参加していただけることを願っています。

宮城県には現在5,700人余りの中国籍の方が住んでおり、ネットワークを構築するのは決して簡単なことではありません。また、フィリピン出身者にとってのカトリック教会、韓国出身者にとっての領事館や民団といった拠点もしくは核になる機関、施設がないのも中華圏の方々や宮城県でネットワークを構築しにくい理由の一つになるのかもしれませんが、「宮城県華人華僑同舟会」が今後そうした拠点そのものになるようMIAも応援し、注目し続けていきたいと思っています。

なお、同舟会についての各種お問い合わせは当面MIA(TEL:022-275-3796)までお願いします。

このコーナーでは、県内の国際活動団体の2012年6月～7月の活動予定をご紹介します。

MIAイベントカレンダー

2012	6	S	M	T	W	T	F	S	7	S	M	T	W	T	F	S
	6						1	2	1	2	3	4	5	6	7	
		3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	
		10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	
		17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	
		24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					

※●はイベント開催予定日です。詳しい内容については以下でご確認ください。

アイコンの見方 人:主催 場所:会場 時計:時間 紙:申し込み 円:参加費 電話:電話 FAX:FAX Eメール:Eメール HP:ホームページ

6 月 JUNE

6・7月 毎土日曜日

瑞巖寺ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 瑞巖寺
- 10:00～15:00
- 不要(直接瑞巖寺にお越しください)
- 無料(但し拝観料は各自負担)
- http://www.geocities.jp/matsushimagw/

6・7月 毎日曜日

円通院ボランティアガイド

- 松島善意通訳者の会
- 円通院
- 10:00～15:00
- 不要(直接円通院にお越しください)
- 無料(但し拝観料は各自負担)
- http://www.geocities.jp/matsushimagw/

6・7月 毎週金曜

国際語 에스ぺ란โต講座 塩釜教室

- 仙台 에스ぺ란โต会
- ビルドスペース(塩釜市港町2-3-11)
- 12:30～13:30
- 電話・FAX・Eメール
- 初回無料、継続はテキスト代等要
- 080-3198-4818(ビルドフルーガス高田)
- 022-389-1620(手塚)
- esperanto@goo.jp
- http://www.birdoflugas.com

10日

歩いて巡る地域歴史散策

- ～仙台の三十三観音巡り～
- 第1番札所から第11番札所
- NPO法人楽遊ネットワーク宮城
- 集合場所:宮城県美術館駐車場前
- 集合時間8:45
- 出発9:00～解散3:00頃予定
- ※参加申込の方には詳しいご案内をいたします。
- 電話・FAX・Eメール(保険をかける都合上、事前に予約が必要です)
- 一般2,500円 会員2,000円(保険・小冊子込)
- 022-261-9869
- 022-261-0546
- eikaiwa.usaclub@dream.ocne.n.jp

17日

津波被災地の子供支援

- イリナチャリティコンサート
- 内モンゴルの子ども達に学校をつくる会
- 美里町文化会館
- 13:00開演 12:30開場
- 前売1,000円 当日1,500円(全席自由)
- 022-355-7506
- http://borijnyirina.maiougi.com/

20日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

- 宮城県行政書士会
- 仙台市青葉区役所4階市民相談室
- 13:00～16:00
- 電話受付または予約なしでもOK
- 無料
- 022-261-6768
- 022-261-0610

21日

NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ13年の歩み

- アフリカ・セミナーの会
- 仙台国際センター研修室
- 10:00～12:00
- 不要
- 700円
- 022-362-7907

30日

フィリピン原発廃炉と米軍基地撤去報告(講演:小林立雄)

- 宮城県アジアアフリカ連帯委員会
- 戦災復興記念館4F研修室
- 14:00～
- 不要
- 無料
- 022-263-8220(菅原)

7 月 JULY

5・6日

東日本大震災を岩手・宮城・福島三県の地域国際化協会でもふりかえるシンポジウム

- 岩手県国際交流協会、福島県国際交流協会、宮城県国際化協会
- ホテル法華クラブ仙台1階ハーモニーホール他(5日)、
- 現地視察・名取市関上地区(6日)
- 電話・FAX・Eメール
- 無料
- 022-275-3796
- 022-272-5063
- mail@mia-miyagi.jp
- http://mia-miyagi.jp/

7日

「今～OKバジ&孝則 ネパールと日本の今を語る～」

- 七夕会
- 仙台国際センター交流コーナー研修室B
- 12:45～15:00
- 無料
- 022-274-6451(後藤)

022-241-8297(桜井)

FAX 022-274-6451、022-241-8297

9～15日

第10回中国吉林省緑化事業植林写真展

- 宮城県日中友好協会
- エルパーク仙台展示ギャラリー
- 9:00～21:30
- 022-274-3811
- jca-miyagi@rose.plala.or.jp
- http://www16.plala.or.jp/miyagikenn/

18日

申請取次行政書士による外国人のための入管手続無料相談会

- 宮城県行政書士会
- 仙台市青葉区役所4階市民相談室
- 13:00～16:00
- 電話受付または予約なしでもOK
- 無料
- 022-261-6768
- 022-261-0610

19日

ザンビアの女性:

20年にわたるフィールドワークから

- アフリカ・セミナーの会
- 仙台国際センター研修室
- 10:00～12:00
- 不要
- 700円
- 022-362-7907

22日

宮城県海外移住家族会

「ロシア塩満リサイタル仙台 2012」

- ロシアファンクラブ、宮城県海外移住家族会
- エルパーク仙台ギャラリーホール
- 14:30開演 14:00開場
- 4,000円(全席自由)
- 022-266-9036(佐藤)

22日

宮城県海外移住家族会創立50周年記念式典

「海外移住と国際交流一過去・現在・未来」

- 記念講演会
- 宮城県海外移住家族会
- ホテル法華クラブ
- 18:00～19:00
- 無料
- 090-8921-6728(吉田)



JICA宮城デスクからのお知らせ

※JICA=独立行政法人国際協力機構(開発途上国に対する総合的な二国間援助機関で、技術協力・有償資金協力・無償資金協力を行っています。)

TEL.022-275-5540 E-mail jicadpd-desk-miyagiken@jica.go.jp JICA東北ホームページ <http://www.jica.go.jp/tohoku/>

「とっておきの音楽祭in東まつしま」キャラバン開催時パネル展示のお知らせ

「とっておきの音楽祭」は、障害のある人もない人も一緒にステージで音楽を楽しむことにより、心のバリアフリーを目指すことを目的として行われています。

今回のテーマは、『つながろう!広げよう!音楽で一緒に』です。

これまでJICA東北は、キャラバン(広報活動)の際に世界の障がい者の現状と国際協力活動をパネル展示してきましたが、今回は国内・国外における災害復興支援活動について展示します。

お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください(入場無料、予約不要です)。

■キャラバン《広報活動》

日時：2012年5月27日(日)～6月10日(日) 10:30-16:00

会場：イオンモール石巻 1階 みどりの広場

(石巻市蛇田字新金沼170)

■本開催《とっておきの音楽祭ステージ発表》

日時：2012年7月8日(日) 10:30-18:00

会場：ロックタウン矢本

(東松島市小松字上浮足43)

東日本大震災を岩手・宮城・福島三県の地域国際化協会でもりかえるシンポジウム



東日本大震災から1年以上が経過する中、あの時現場で何が起こり、何が課題として浮き彫りになってきたかを被災三県の多文化共生の担い手が一堂に会して総括することで、今後の災害に備えるとともに、東北エリアの防災減災の視点から多文化共生の新たな方向性を探ります。

■主催：岩手県国際交流協会、福島県国際交流協会、宮城県国際化協会

■助成：自治体国際化協会(CLAIR)

■日時：平成24年7月5日(木)、6日(金)

■場所：ホテル法華クラブ仙台1階ハーモニーホール他(5日)

現地視察・名取市閑上地区(6日)

■対象：全国の自治体、地域国際化協会、市町村国際交流協会、

日本語教室、その他多文化共生に関心のある一般市民

100名

■参加費：無料

■内容：パネルディスカッション、分科会(5日)、津波被災地視察(6日)

●事前申し込みが必要です。問い合わせ、申し込みはMIAまで。

サポーターの声

曾根 誠子さん 外国籍の子どもサポーター

季節は秋。私はパキスタン人の子供達と出会いました。彼らの澄んだ目に圧倒的な意欲を感じたのを覚えています。時は流れ、冬になりました。勉強中にふと外を見ると、大粒の雪がたくさん降っていたのです。「先生、雪!」と彼らの大きな声と嬉しそうな顔。勉強を中断し、窓を開けて手をかざしました。大きな雪が手のひらの上に落ちた時、「わあ、冷たい。きれいだね」と一声。その後、彼らはジャンパーを持ってきて広げ、雪を集め始めたのです。「雪だるまを作りたいなあ」と。初めて見た雪、触った雪。日本で暮らす彼らは、こうして季節の中でも多くのことを感じていくのだと思いました。学校生活での日本語、会話が日を追うごとにふくらんでいくことをお手伝いできたらと思います。教室を出るときは、私も加わり、大きな声でゆっくりと、「ありがとうございました」と礼をして、扉は閉まります。

「MIA 外国籍の子どもサポーター」とは…

県内に在住する外国籍住民の増加に伴い、県内の小中学校では日本語学習などの支援を必要とする外国籍児童・生徒も増加しています。そうした子どもたちのために日本語教育の基礎を身に付けた人材や母語に精通した人材をサポーターとして派遣することで、子どもたちの円滑な学校生活をサポートするとともに、学校現場の負担軽減に貢献しています。

多文化 なトピック

新しい在留管理制度がスタート

2012年7月9日(月)から新しい在留管理制度がスタートします。要点は以下の4つです。

- ①「在留カード」が交付されます
- ②在留期間が最長5年になります
- ③再入国許可の制度が変わります
- ④外国人登録制度が廃止されます

詳しくは、法務省入国管理局のHP(http://www.immi-moj.go.jp/newimmiaact_1/)をご確認ください。また、当協会発行の多言語かわら版6月号でも分かりやすく説明していますので、そちらも併せてご覧ください。

MIA情報便



このコーナーでは、MIA宮城県国際化協会の最近の動きをお知らせいたします。
 いずれの件も、お問い合わせは ☎022-275-3796 E-mail mail@mia-miyagi.jp まで。お気軽にどうぞ。



テイラー文庫翻訳プロジェクト

東日本大震災で津波の犠牲となった石巻のALT(外国語指導助手)テイラー・アンダーソンさんのご遺族が、テイラーさんが教えていた7つの小中学校に図書を寄贈されました。その図書の多くが英語だったために「翻訳してもらえればありがたい」という現場の声があり、テイラーさんの同僚である宮城県内のJET青年たち(みやぎAJET)と当協会の外国人支援サポーターのコラボレーション企画、「テイラー文庫翻訳プロジェクト」が4月に立ち上がりました。

すでに4月15日(日)、5月12日(土)と2回開催しましたが、延べ約60名のJET青年とMIAサポーターのみなさんにお集まりいただきました。JET青年と日本人サポーターとのペアワークで和気藹々と作業が進められ、会場は常に和やかで賑やかな雰囲気に包まれていました。



絵本、児童書の翻訳は意味だけではなく、物語の雰囲気を壊さないような日本語を選ぶのが難しいですが、ペアワークでとても勉強になりましたし、楽しかったです。(参加された通訳サポーターさんのコメント)

「世界へありがとう」七ヶ浜国際村インターナショナルデイズ ニューージーランド編

ゴールデンウィーク後半の5月3日(木)から5日(土)までの3日間、七ヶ浜国際村にて「インターナショナルデイズ」が開催されました。2012年のテーマ国は「ニューージーランド」。本来は昨年開催される予定でしたが、東日本大震災のためにやむなく中止となり、今年の開催となりました。

当協会は、宮城県庁から資料の提供を受け、東日本大震災後に宮城県を訪れた世界25か国の政府代表、駐日大使といった要人の写真をコリドールに展示しました。期間中は悪天候にもかかわらず多くの方々のご来場になり、上記の写真も見ていただきました。この展示を通じ、世界からの様々な支援を再確認することができましたし、支援いただいた世界のみなさまに感謝の気持ちを表すことができたのではないかと思います。



連休中は悪天候にもかかわらず多くの来場者でにぎわっていました。

ライブラリー

ライブラリーのコーナーで紹介されている図書は全て貸し出しまたは当協会図書資料室で閲覧可能です。

『多言語やりとり素材集 コミュニティでコミュニケーション』 著者：足立祐子、松岡洋子著 発行：凡人社

地域の日本語教室で、その地域に暮らすさまざまな文化・言語背景を持つ人たち同士が「やりとり」をするための素材集です。

16枚の場面別のイラストを見ながら、自由に話したいことを話すよう勧められていますが、英語、中国語、韓国語の対訳も付いていて、使う言語は日本語だけを想定しているのではありません。

辞書代わりに使える単語のリストや、スムーズな対話を行うためのポイントなどがまとめられた活動例もありますので、こうした素材集が初めての人も使い易いものとなっています。

東日本大震災では、日本語教室がその地域に暮らす外国人の安否確認の場、情報や支援の拠点、精神的な支えあいの場となっていました。それは、普段からの教室での活動を通して、学習者とボランティア、そして学習者同士のつながりがあったからこそです。

コミュニケーションをとりながら、同じ地域に暮らす人たちとかわりを持ち、つながりを得ることを目指した本書は、地域日本語教室の持つ役割を改めて考えさせてくれるものでもあります。



賛助会員募集

MIA(公財)宮城県国際化協会は、県民参加の幅広い国際交流を進め、人と人との輪を広げていくために、皆様の御理解と御協力を求めています。



- 賛助会員の資格
本協会の趣旨に賛同し、運営活動に協力していただける個人や団体(国際活動団体、企業、機関)など
- 賛助会員の区分と年会費
個人会員/1口 3,000円
団体会員/1口 10,000円
- 賛助会員の特典
◎協会機関紙「みやぎの国際情報誌 倶楽部MIA」の定期送付(年6回)
◎「MIA多言語かわら版」(日・英・中・韓・葡)の定期送付(年6回)
- ◎当協会主催のイベントや各種講座の案内及び参加費の減免
- ◎個人会員については協会と提携する旅行会社が指定する国内外の旅行代金の一部割引 (株)ジェイティービー仙台支店 (株)ジェイティービー東北石巻支店 宮交観光サービス(株) (株)日本通運 仙台旅行センター
- 入会方法
◎本協会あて御連絡ください。
◎所定の申し込み用紙と振り込み用紙を送付いたします。



倶楽部 MIA vol.61

編集・発行
公益財団法人 宮城県国際化協会
〒981-0914
仙台市青葉区堤通南宮町4番17号
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL 022(275)3796
FAX 022(272)5063

E-mail mail@mia-miyagi.jp URL http://mia-miyagi.jp/

